

■常設展示室2 近世の絵画・南画(文人画) 富春館記念室

テーマ展示 美人画の魅力

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備考
1	うたがわとよくに 歌川豊国	いまようむすめななこまち 今様娘七小町 かよひ小町	1804~1818頃(文化年間)	37.0×25.0	木版画・紙	
2	うたがわとよくに(三代豊国) 歌川国貞	じせいうすけしやう 時世薄化粧	1818~1830頃(文政年間)	36.8×25.0	木版画・紙	
3	うたがわとよくに(三代豊国) 歌川国貞	なぞらえごぎやうづくしのうち ひ 擬五行尽之内 火	1852(嘉永5)	各36.0×25.0	木版画・紙(二枚組)	
4	けいさいえいせん 溪斎英泉	傾城江戸方格 ぬ 西久保八幡金池 院神明鳥森稻荷増上寺	1830~1844頃(天保年間)	37.0×25.0	木版画・紙	
5	けいさいえいせん 溪斎英泉	じせいびじょくらべ にようぼう 時世美女競 女房	1818~1830頃(文政年間)	37.0×26.0	木版画・紙	
6	うたがわくによし 歌川国芳	よまい はっけい ひと め 夜参り八景 一ツ目	1844~1848頃(弘化年間)	36.0×24.0	木版画・紙	
7	うたがわくによし 歌川国芳	ふたみ うら こうけい 二見ヶ浦の光景	1854(安政1)	各37.0×25.0	木版画・紙(三枚組)	
8	作者不詳	げんじものがたりえびやうぶ 源氏物語絵屏風	江戸時代後期	各100.8×271.0	紙本着色	帆足市太氏寄贈
9	作者不詳	らくちゅうらくがいずびやうぶ 洛中洛外図屏風	1640(寛政年間)頃	各108.5×273.0	紙本金地着色	
10	たのむらちよくにゆう 田能村直入	らふせんによず 羅浮仙女図	明治時代	114.5×36.8	絹本着色	帆足市太氏寄贈
11	もりかんさい 森寛斎	じんこうていず 沈香亭図	江戸時代後期	109.0×42.0	絹本着色	帆足市太氏寄贈
12	でん すういつけい 伝 鄒一桂	かじんすいしやうず 佳人吹簫図	清時代中期	83.3×29.6	絹本着色	帆足市太氏寄贈
13	きゅうえい 仇英	しゅんやえんとうりえんず 春夜宴桃李園図	明時代中期	30.8×200.3	絹本着色	帆足市太氏寄贈

